

# 墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査結果等から見られる現状と課題〔未就学児保護者アンケート〕資料1

## 1 母親の就労状況（問5、6）

- ・前回調査と比べるとフルタイム(産育休等を除く)の割合が増加(26.7% 32.5%)
- ・パート・アルバイトにおいても就労時間6時間以上が54.3%

## 2 育児休業取得の状況（問32）

- ・母親の育児休業取得実績は、前回に比べ増加(39.2% 49.8%)
- ・母親の育児休業から職場に復帰した時期は、「年度初めの保育園入所に合わせたタイミングで復帰した」が81.2%であることから、年度途中の入園が困難と感じていることがわかる

## 6 家での日常的な預かりの状況（問20）

- ・「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が22.8%
- ・「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が68.3%、そのうち「負担をかけるのは心苦しい」は20.2%となっており、一時保育の潜在ニーズが伺われる
- ・「日常的・緊急時いずれもいない」が19.3%（無回答含む）となっており、定期保育及び一時預かり等の潜在ニーズが伺われる

## 8 相談相手の状況（問21）

- ・子育てをする上で、気軽に相談できる人がいるかについて「配偶者(パートナー)」が84.6%、「祖父母等の親族」が75.1%、「友人や知人」が70.2%
- ・それ以外には、「保育園の子育て相談」「かかりつけ医師」が若干高く、15%程度となっているものの、「子育て支援総合センター」「保健所・保健センター」「児童館」などは1割に満たないことから気軽に相談できる窓口とはなっていない
- ・一方、「インターネット」は1割となっており、手軽さから今後気軽に相談できるツールとしては高まる可能性はある
- ・「特に相談することはない」「相談できる人はいない」は約1%とごくわずか

## 3 就園状況（問10、12）

- ・定期的な教育・保育事業を利用している割合は62.4%
- ・就園している割合は6か月未満で5.7%、6か月～1歳未満で21.6%、1歳で53.9%、2歳で55.7%、3歳で80.3%、4歳以上はほぼ100%
- ・就園している施設は幼稚園が38.1%、認可保育所が58.1%、認定こども園が2.5%、認証保育所は6.0%

## 4 現在働いていない母親の今後の就労希望（問8）

- ・すぐにも、もしくは1年以内に「就労したい」が18.8%
- ・就労形態はパート・アルバイト等が72.4%、前回調査に比べると短時間勤務の希望が高い

## 7 不定期に利用している事業（問23）

- ・一時預かりを利用したい理由は、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)リフレッシュ目的」(41.6% 46.3%)、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」(41.9% 47.0%)となっており前回調査と比べると増加
- ・上記のようなことがあった時の対応(1年間)として、「親族・知人に見てもらった(同居者を含む)」が15.6%となっており、半数以上「困難」だったと回答していることから潜在ニーズが伺われる

## 9 児童館・地域子育て支援拠点（問19、問29）

- ・児童館のサービスの充実に向け、「季節のイベント(緑日・お正月遊び・豆まき・七夕・クリスマス等)」が68.5%、「自然体験」が58.6%、「工作・手芸などの製作」が53.2%と様々
- ・区内の地域子育て支援拠点事業を利用している割合は26.5%

## 10 子育てに対する自信（問28）

- ・子育てに自信が持てないと「いつも感じる」と「ときどき感じる」を合わせた「感じる」割合は5割を超えており、前回調査と比べると増加している(34.2% 53.8%)

## 5 希望の就園内容（問17）

- ・認可保育所を第1希望として回答している割合は6か月未満で65.1%、6か月～1歳未満で66.4%、1歳で66.8%となっており、現状との乖離(ニーズの高まり)が見られる
- ・3歳以上の希望は、保育所と幼稚園と合わせて80%前後となっている
- ・5歳では、認定こども園が14.1%と、現状の利用と他の年齢の希望と比べ高くなっている

## 11 墨田区の子育て環境への期待（問31、43）

- ・区で行っている事業の中では、「妊婦歯科健康診査」については、認知度・利用状況・満足度ともに高い
- ・「こんにちは赤ちゃん事業」「すみだ子育てアプリ」については認知度が低い
- ・墨田区で目指す環境として重要だと思うことは「認定こども園・保育所・幼稚園等の教育・保育サービスが充実している」が一番多く49.2%となっている

## 12 墨田区子ども・子育て支援事業計画の見直しに向けて

### 子どもの最善の利益を優先します

- (1)子どもの豊かな育ちを育む場・機会の充実
- (2)子どもの生きるための基礎的な力を育成する環境の整備
- (3)子どもの心とからだの健康づくりの促進

### 保育の量的整備のみならず、保育の質を重視します

- (1)親と子の健康づくりの促進
- (2)子育て支援サービスの充実
- (3)認定こども園・保育所・幼稚園等の教育・保育サービスの拡充と質の向上

### 困難を抱えた子どもと家庭への支援体制を厚くします

- (1)ひとり親家庭等への支援
- (2)障害のある子どもの発達と成長支援
- (3)保護が必要な子どもとその家庭への支援
- (4)子育て家庭への経済的な支援と生活が困窮している子どもとその家庭への支援

### 地域の子育て力及び連携を強化します

- (1)親同士のつながりと子育て力の育成
- (2)地域の子育て力の育成と協働
- (3)企業等の子育て力との協働
- (4)個々のニーズに即した子育て支援ネットワークの構築
- (5)子どもの安全・安心を守るための環境の整備

### ワーク・ライフ・バランスを踏まえた支援を実施します

- (1)ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくりの推進
- (2)子育てにやさしいまちづくりの推進
- (3)子育て家庭の視点に立った情報の発信

### 小学生保護者アンケートにて

#### 課題

- ・低年齢児の保護者の就労希望者が増加している
- ・就労希望者の変化に合わせた教育・保育のニーズが増加している
- ・3歳以上児に対する教育・保育の役割が大きく健やかな育ちを保障する必要がある
- ・墨田区が目指す環境づくりとして認定こども園・保育園・幼稚園等の教育・保育サービスの充実が最も望まれている
- ・教育・保育への年度途中入所が困難なことから育児休業からの早期職場復帰を招いている
- ・親のリフレッシュも含めた一時預かり事業の充実が必要
- ・児童館に対する期待も大きいことからあり方を検討していく必要がある

#### 課題

- ・ひとり親家庭の増加による対応が必要
- ・子どもの貧困率が増加しており、生活に困窮している子どもとその家庭への対策が急務

#### 課題

- ・子育てに自信が持てないと感じる方に対する対策が急務
- ・「こんにちは赤ちゃん事業」「すみだ子育てアプリ」の認知度向上が必要

#### 課題

- ・女性活躍推進法を背景として仕事と家庭の両立を支援するための雇用環境の整備を促進していくことが必要
- ・男性の働き方の見直しを周知していくことが必要
- ・子連れでも外出しやすい公共施設・交通機関等の整備(インタビューより)
- ・サービス等の子育て情報をより区民が受け取り手法の検討が必要(インタビューより)